

災害時の代替路

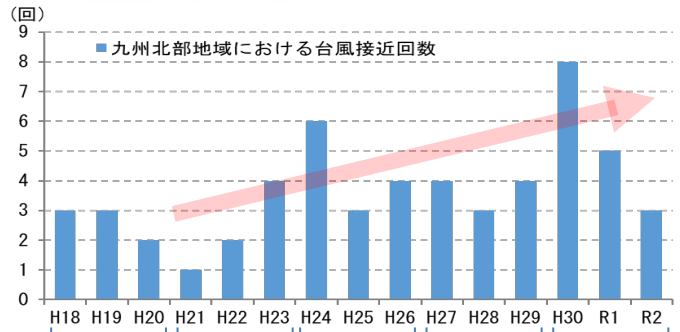


令和2年7月豪雨時 国道208号冠水(大牟田市) [写真①]

資料：大牟田市HP(「大牟田市令和2年7月豪雨災害検証委員会(第1回)」会議資料より)

豪雨等の災害時に代替路として機能

近年、豪雨等による浸水被害が増加しており、令和2年7月豪雨時には大牟田市で大規模な浸水被害が発生しました。その際主要な幹線道路は冠水しましたが、道路の位置が高い有明海沿岸道路は浸水の影響を受けず、代替路として機能しました。

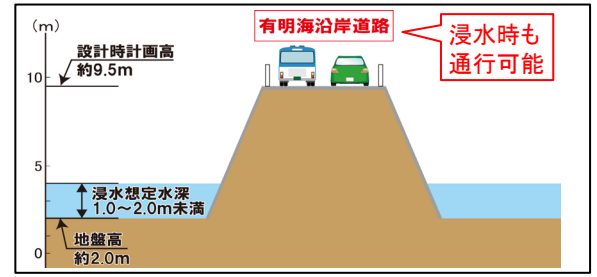


九州北部地域における台風接近回数 資料：気象庁



令和2年7月豪雨 国道389号冠水状況(大牟田市) [写真②]

資料：大牟田市HP(「大牟田市令和2年7月豪雨災害検証委員会(第1回)」会議資料より)



災害時の 緊急輸送路

益城町(2016.5.14)

資料：国土交通省（防災パネル「平成28年度 熊本地震」より抜粋）

熊本地震 九州縦貫道の代替機能を発揮

平成28年熊本地震発災後、九州縦貫道(植木IC以南)が一時通行止めとなり、鳥栖市等の物流施設からの緊急支援物資の供給にあたっては、有明海沿岸道路が代替路として利用されました。



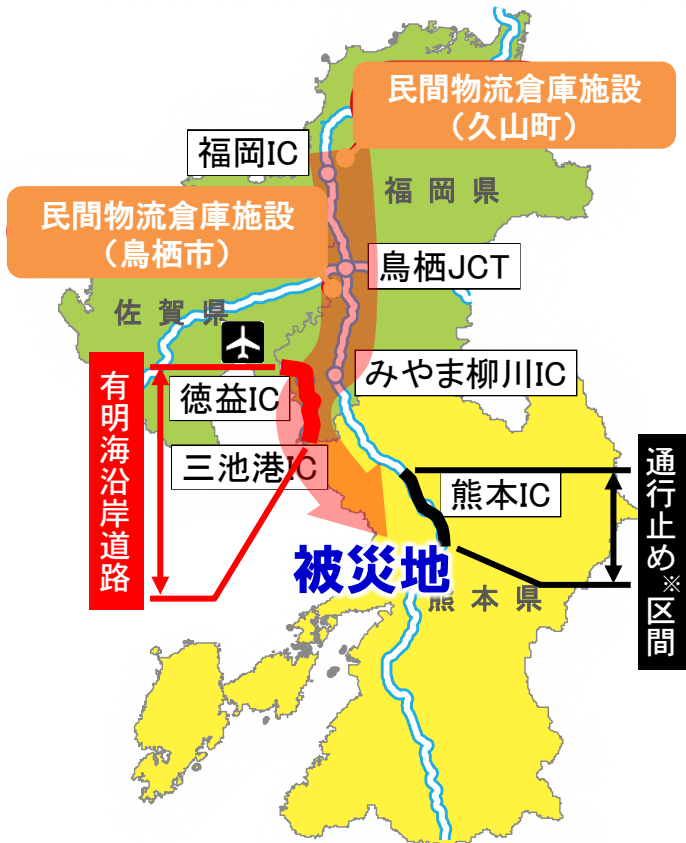
緊急物資輸送車両の活動状況(鳥栖市)

資料：国土交通省（「物資支援に関する補足資料」より抜粋）



九州道の被災状況(益城バスストップ付近)

資料：国土交通省（「記者発表:高速道路の復旧状況について」より抜粋）



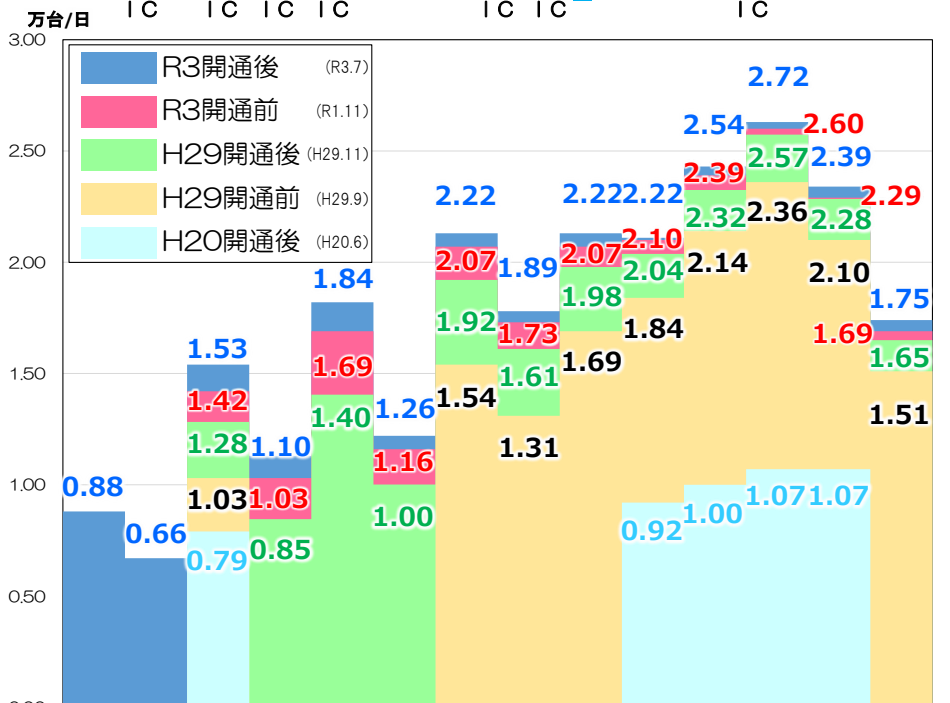
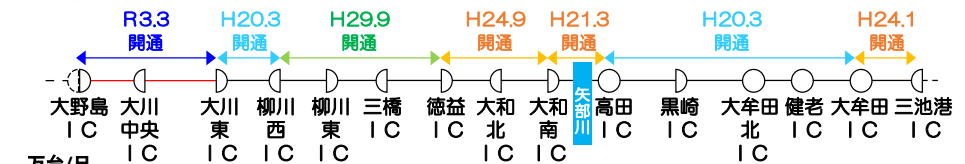
※ H28. 4. 16~4. 29
通行止め(植木IC~益城熊本空港間)

利用者が 大幅増加

大牟田高架橋よりみやま市側を望む

延伸に伴って利用者交通量が増加している大幹線道路

平成20年3月の初開通以降、利用者は大幅に増加し、現在では最も多い区間で1日あたり2.72万台の利用交通が観測され地域の自動車移動の大動脈となっています。



資料：交通実態調査結果 ※ただしR3.7はコロナ禍のため参考値

■有明海沿岸道路の断面交通量の変化
(初開通直後(H20.6)から現況(R3.7大野島IC開通後)までの変化)

沿線開発が加速



大牟田高架橋とイオンモール大牟田

企業、商業施設等が沿線地域に相次ぎ進出

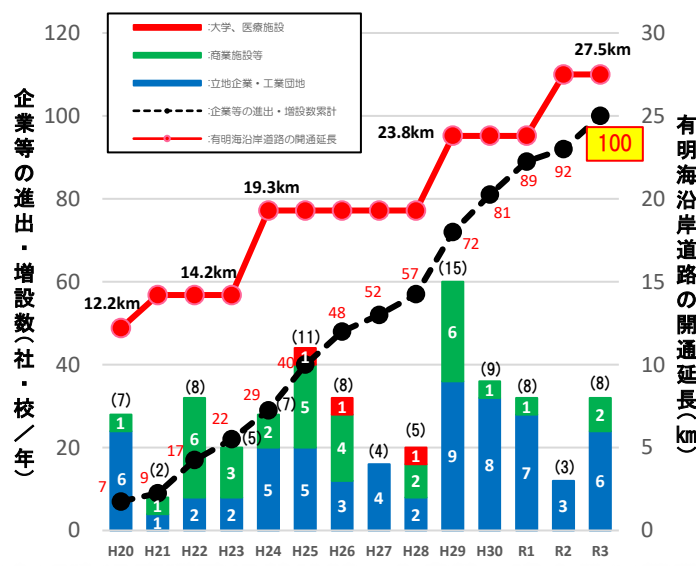
有明海沿岸道路の沿線地域では、九州縦貫自動車道、九州新幹線等のアクセス性も良く、企業、商業施設、大学等計100社が新たに進出・増設しています。



■有明海沿岸道路沿線地域の企業等の進出状況
資料：各自治体産業振興課等



健老ICと大牟田エコタウン



■有明海沿岸道路沿線地域の企業等の進出状況推移
資料：各自治体産業振興課等 (令和4年1月時点)

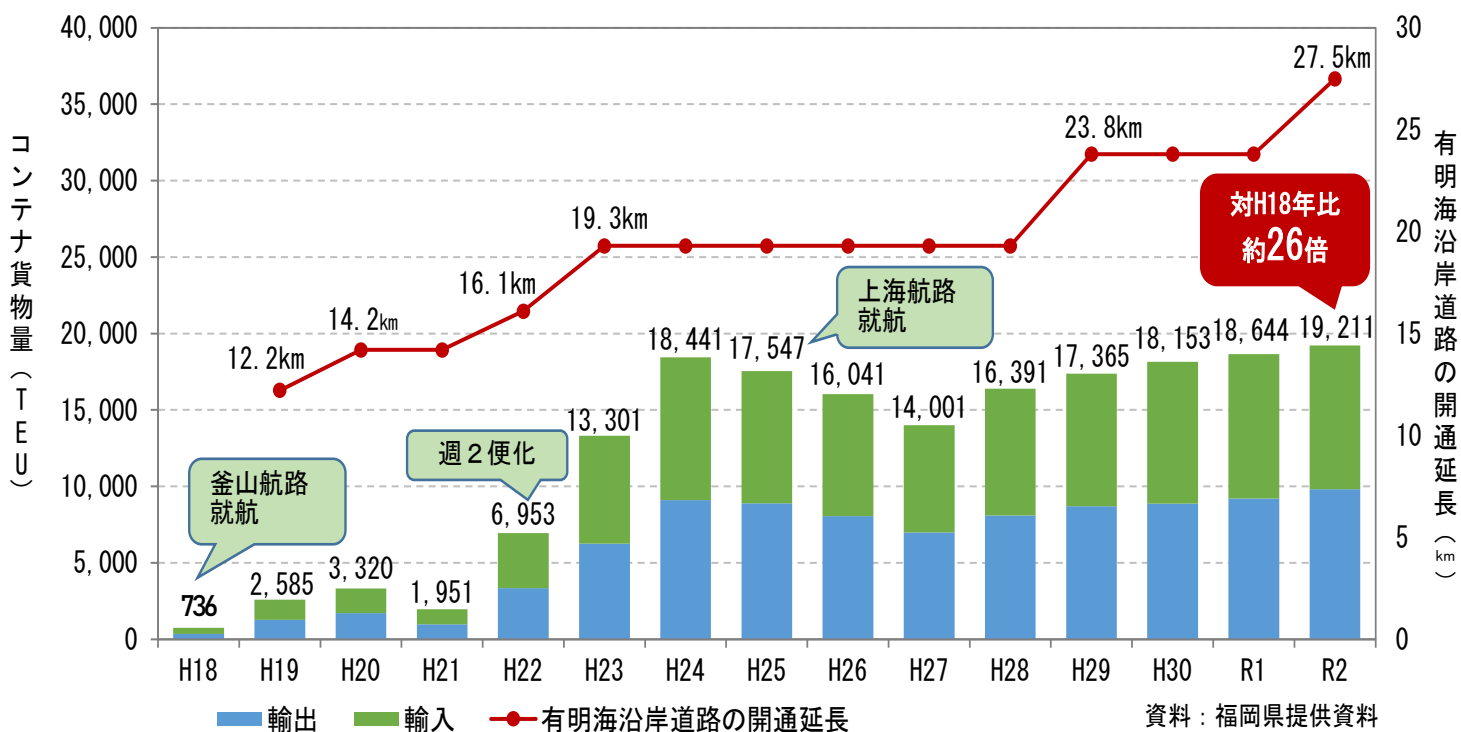
物流の効率化



写真提供:博多港湾・空港整備事務所

三池港との連携強化により、物流を支援

国際物流拠点として福岡県南部に位置する重要港湾「三池港」との広域物流ネットワークが強化されることで、物流の効率化が図られます。その結果、三池港の国際コンテナの取扱貨物量は、対H18年比で約26倍までに増えています。



資料：福岡県提供資料

■三池港国際コンテナ貨物量の推移

出典：大牟田市資料

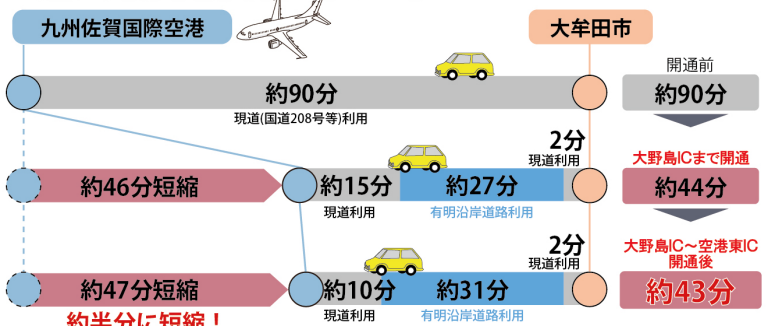
利便性の向上

九州佐賀国際空港

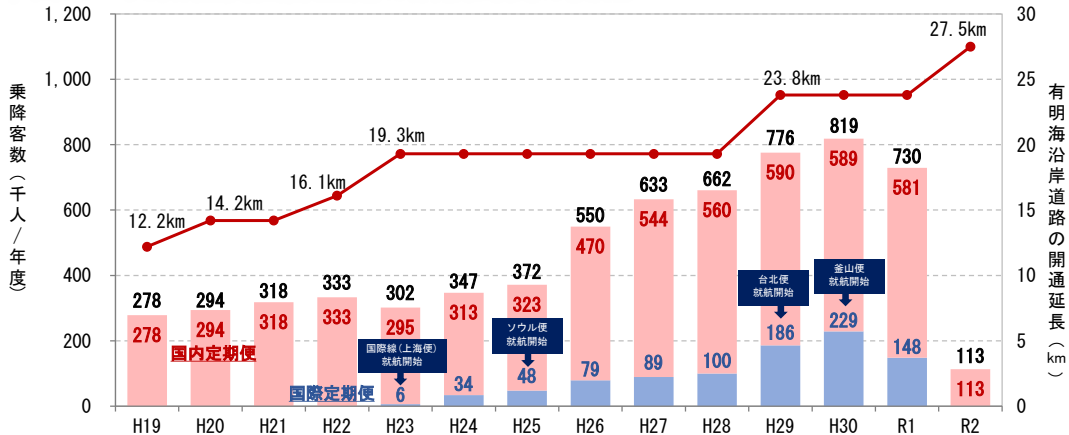
九州佐賀国際空港までの所要時間が短縮

九州佐賀国際空港と大牟田市間の所要時間は、有明海沿岸道路の開通前(国道208号等を利用)では、約90分でしたが、有明海沿岸道路の整備により、現在の所要時間は約半分(約90分→約44分)に短縮されています。

またアクセス性も向上しており、九州佐賀国際空港の乗降客数が平成24年度から7年連続で過去最高を更新しました。



■大牟田市～九州佐賀国際空港の所要時間の変化



■九州佐賀国際空港の乗降客数

※R1国際線は各便で運休・運転見合わせの期間があったため減少。
※R2はコロナ禍で減便、外出自粛などにより減少。



便利に、快適に

福岡県区間が全線開通！

有明海沿岸道路は福岡県区間が全線開通し、地域に快適な自動車の通行と、有明海沿岸地域の新しい景色を提供しています。



① (仮称) 早津江川橋【橋長:854m】



シンプルな1連アーチの形式により三重津海軍所跡付近の周辺環境との調和に配慮しています。

大川市～佐賀市諸富町

③ 矢部川大橋【橋長:517m】



ケーブルを支える主塔の高さ約85m、また中央支柱は間長は261m、橋名は、地域の皆様の意見で決めました。

みやま市高田町～柳川市大和町

④ 健昭橋【橋長:201m】



船の航行に支障が出ないように、中間部に橋脚を設けず、橋にかかる力をアーチ部分と桁部分で受け持つように配慮しています。

大牟田市(健老町～昭和開)

⑤ 諏訪川橋【橋長:210m】



船の航行に支障が出ないように、中間部に橋脚を設けず、橋にかかる力をアーチ部分と桁部分で受け持つように配慮しています。

大牟田市(西港町～岬町)

出張等で利用する際の目的地までの時間が短縮されて助かっています。また走行中の視界に入る景色に爽快感を感じています。(大川市 40代男性)

景色もいいし信号もないためドライブするだけでも気持ちがいい。(大川市 30代女性)

地元住民の声